

# 久米 寿号

第129号  
H27. 10. 1  
久米地区  
寿会連合会  
文化部

## 久米地区寿会連合会の活動状況

- 七月一日 「久米寿号第一二八号」発行
- 七月八日～十七日 夏の交通安全県民運動に参加
- 七月十三日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 七月二十一日 周南市社協主催の東部地域老人大  
学校（於櫛ヶ浜コミュニティセン  
ター）に三十名参加
- 七月二十一日 久米地区社会福祉協議会よりの活  
動助成金を各単位寿会に引き渡し  
周南市老人クラブ活動費補助金を  
輝きクラブ周南徳山支部を経由し  
て受領（八月三日各単位寿会に引  
き渡し）
- 八月三日 久米地区寿連 単体会長会議  
「久米地区ふるさと夏まつり」に  
協力参加（於久米小学校運動場）
- 八月八日 輝きクラブ周南徳山支部理事会  
輝きクラブ周南徳山支部理事会  
「久米寿号第一二九号」編集会議
- 八月十日 全国老人クラブ「社会奉仕の日」  
活動を久米地区各単位寿会でそれ  
ぞれ実施（十八日～二十日）
- 九月十四日 久米地区社会福祉協議会主催「久  
米地区敬老会」（於太華中学校体  
育館）
- 九月二十一日 「秋の全国交通安全運動」に参加
- 九月二十五日 久米地区寿連 単体会長会議

### ☆会員のお祝い

九月二十一日の「敬老会」で、次の会員の方々が、周南市から「米寿」のお祝いを受けられました。心よりお祝い申し上げます。

- 石川博子さん（上南寿会）
- 田村磯乃恵さん（北寿会）
- 三嶋益子さん（北寿会）
- 桐山ウタ子さん（北寿会）
- 藤井良子さん（北寿会）
- 原田花枝さん（田中院内寿会）



### ☆会員の訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます  
松本靖子さん（田中院内寿会）  
平成二十七年九月十五日死去 享年八十六歳

## 短歌

盆来れば孫等の浴衣に糊をして  
上南寿会 石田敬枝  
入り日あびかがやき見せるカラストを  
帰省してくるその時を待つ  
吹きわたる風初夏をおわす  
（秋吉台にて）

## じいちゃん 水車小屋の怪

中寿会 井上好男

じいちゃんと呼ばれるようになって二十年近くなる。八十近くになって、私の好介じいちゃんの話、母から聞いた事を思い出す。母が五十近い九番目に生まれた子供だから、私はじいちゃんを知らない。母の話では好の一字貰ったので、好男は一寸似ていると云う。

昭和二十年代頃夜のこと。母は暗いので淋しいから水車と一緒に帰って来てくれとのことと同行。当時水車は数軒で共同使用だった。道の行き帰りに、明治時代の好介じいちゃんと、水車小屋での事件の話になった。

一斗の米を搗いたが、どうも少ない気がする。量は少し増えるぐらいである。盗まれるのではと、婦人達はこっそり夜警の話になる。その夜すぐ犯人は見つかる。村の婦人だった。最初は少量なので分からなかったが、回を重ねる度に多量になり、不審に思われ始めたのだ。昔は情け豊かな時代、すぐ捕まえるなどしない。巡査に届けようなどと、話は大騒ぎになる。好介じいちゃんのお前ら、何を云うか。あの家には、田畑は少ないし子供は多い。米麦を持って行ってやれで、一件落着。

昭和時代の記憶では、餅、おはぎなど、珍しいものは近所同士でやりとりして、一人暮らしの家などには特に気をくばり、思いやりのある郷里であった。

近年は近親や部落内でさえ、争い、殺人まである。現在の経済の豊かさに逆行して、精神面は貧しくなりつつある様に感じるのは、私だけだろうか。

## パーキンソン病

中寿会 野村克行

私は昨年六月に二回目の脳梗塞に罹り約二十日間入院しました。一回目の脳梗塞は、約十年前に罹りましたが、この時は後遺症は全くありませんでした。

しかし、この度はどうも月日が経つにしがたが、だんだん足が重くなって前につんのめりがちになり、よちよち歩きのような状態が多くなってきました。私としてはこれは脳梗塞の後遺症とばかり思い込んでいました。ところが、どうもおかしいと思ひ医者によく診てもらったところパーキンソン病と判明しました。

パーキンソン病はアルツハイマーと親戚のようなもので、アルツハイマーは脳みその欠落であるのに対し、パーキンソン病は筋肉の神経の欠落だそうです。症状としてはいろいろあるようですが、典型的な症状の一つが私の罹った、前につんのめりがちで、よちよち歩きの症状です。

薬をもらって飲んだら、一錠回目から効きましたが、この病気は徐々に進行し、完治は望めないそうです。皆様にお奨めしたいことは、パーキンソン病のことを健康なうちから知っておいていただき、初期症状に気付かれたら早めの処置をすることです。

我慢して放っておけば置くほど重症になり、長く辛い暮らしをしなければならぬそうです。

私の場合、まだまだ症状は軽い方ですが、初期症状について振り返ってみますと、歩行時、時々前へのつんのめりを感じはじめたのは三年も前のことでした。これがパーキンソン病の前触れであると感じていたら、早い治療をすることができたいて、もっと楽な暮らしができていたものと思つと悔やまれます。

☆九月二十一日(敬老の日)に、久米地区社会福祉協議会主催で久米地区敬老会が太華中学校体育館で開催され、百九十七名の方が出席されました。その席で久米小学校四年生お二人からお祝いの言葉を頂きました。ご紹介します。

### おじいさんおばあさんへ

久米小学校四年 安村瑠輝愛

いつもぼくたちの登下校を見守り、声をかけてくださってありがとうございます。運動会や学習発表会などの行事にも来てくださってありがとうございます。おかげで、楽しい学校生活が送れています。ぼくは、地いきの行事によくさんかしています。夏祭りや夕すずみ会の時には、地いきの人たちに、準備をしてもらったり、食べ物のコーナーを開いてもらったりして、どの行事も楽しいです。



特に夏祭りの太こを教えるもらった時は、たたき方をいっしょに打ちながら教えてもらいました。だんだんできるようになって、「左のうでを回してたたくんだよ」とか、「右を思いっきり打つといいよ」と、たたいた後にアドバイスをしてくださいました。今年の夏祭りでも、太こをたたきました。自分でも、自信を持ってたたくことができ、「上手やったよ。カッカとたたくところがよくたたけていたよ」と、ほめてもらってうれしかったです。

こうやって、地いきのおじいさんおばあさんが次の人たちに、知っていることを教えたり、行事を続けようとかんばってくれているおかげで楽しく食べたり遊んだりできます。ぼくがおじいさんになったら、今までしてもらったことを今度はぼくがやってあげたいです。みんながよろこんでくれるので、地いきの行事を受けついでいきたいと思えます。これからも、地いきの行事にさんかして、おじいさんやおばあさんの持っているわざを教えてください。これからもお体に気をつけて元気であってください。

お前さんはある雨の日曜日の朝に、しょぼくれて我が家のテラスの椅子の背に止まって鳴いていたね。あっ、カラスだ！ 黒い影に驚いたわたしは、あんたを追い出そうとしました。でも雨の中だし、とりあえず餌でもと米粒をあげましたが、食欲はなさそうでしたので、そのままおいて出かけました。帰ってみるとその鳥は、主人の大きなお腹の上ですやすやと寝ていました。抱き上げてみれば、左足の指が曲がり、胸を一撃されたか血の塊ま

### いとしのポッポちゃん

上南寿会 斉藤明美

が出来ていました。これは結構重傷だね。ゆっくり眠りたがったわけです。ソファの横で箱に入れて休ませました。

翌日、近所の野鳥の好きなお宅へ連れて行って見てもらおうと、キジバトとわかりました。とてもしおらしく、お行儀がいいのでどこかで飼われていたのかも。何かの間違いで傷つき助けを求めてきたのかもかもしれません。まだ幼い姿ながら首筋すつきりしておメメぱっちり、いい顔立ちでなかなか魅力的

清花

香ぐわしい百合の白さに魅せられる  
良いと知り老いには不安なマイナンバー  
後戻り利かぬ余生にある焦り



### おじいさんおばあさんへ

久米小学校四年 芝ひなた

わたしのおばあちゃんとおじいちゃんは、わたしが熱を出した時に、岩国からきてくれてかん病してくれました。今年の夏休みにも、すごく高い熱が出て、その時も、つきつきりでかん病してくれました。遠くなのにわざわざ来てくれてうれいす。めいわくをかけたいるなあと思います。



おじいちゃんとおばあちゃんには米や野菜を育てています。なえのうえ方や野菜の取り方を教えてくれます。たけのこのほり方も教えてくれます。おばあちゃんは、わたしに「なにが食べたい」と聞いてくれて、わたしたちが食べたいこんだてを作ってくれます。

おじいちゃんは、流しそうめんの竹をどうやって切るのがとか、のこぎりはどう使うのとかを教えてください。作ってみたら、むずかしかったです。わたしはおじいちゃんおばあちゃんはずいぶんおもしろい事を知っているからです。これからも、わたしの知らない事をたくさん教えてください。

いつもおじいちゃんおばあちゃんにわたしのことを大切に思ってくれてありがとうございます。わたしは、おじいちゃんおばあちゃんのことを大好きです。感しゃの気持ちを忘れないようにしたいです。いつもありがとうございます。今度わたしは何かする番だと思えます。野さいをとったり、いっしょに料理をしたり、たくさんお手伝いをしてあげたいです。これからもずっと長生きしてほしいです。

地いきのおじいさんおばあさんもわたしたちの事を見守ってくれています。いつもわたしたちが登校している時に、笑顔であいさつをしてくれます。あいさつをしたら、とてもうれしくなります。これからも体に気をつけて元気であってください。

です。性別は分からないけどポッポちゃんと命名しました。

家の中で飼っていましたら部屋じゅうあちこちに糞をして、眼の悪い主人が踏むし、私は後始末に結構大変だったので一週間後に外に出しました。

あれから八週間、おとなしなかったポッポちゃんは日に日に遅くなり、私たちが食事をする時、決まって網戸にへばりついて餌をくれとねだるのです。私が庭で草取りしていると、傍らにきて草を食んでいて、飽きると背中や頭に載って髪の毛をつつきます。先日、バス停で鳩が餌をあさっているのを見ました。その時、人懐っこいのは、人に飼われていたのではなく鳩の習性だったのだと納得しました。最近主人が近寄ると声をあげて話しかけてきます。ポッポちゃんは我が家のペットです。